

# 「全て」か「無」か。

## データの無意味化で、守らないセキュリティを ZENMU for Server

### サーバー領域もZENMUで安全に

サーバー上の情報は、サイバー攻撃の格好的。  
 防御の壁を高く積み上げても、情報漏えいリスクをゼロにするのは至難です。  
 では、どうすれば？

**解決課題 1**

**サーバーの運用管理コストを削減したい**

**解決課題 2**

**安価なパブリッククラウドを安全に利用したい**

**解決課題 3**

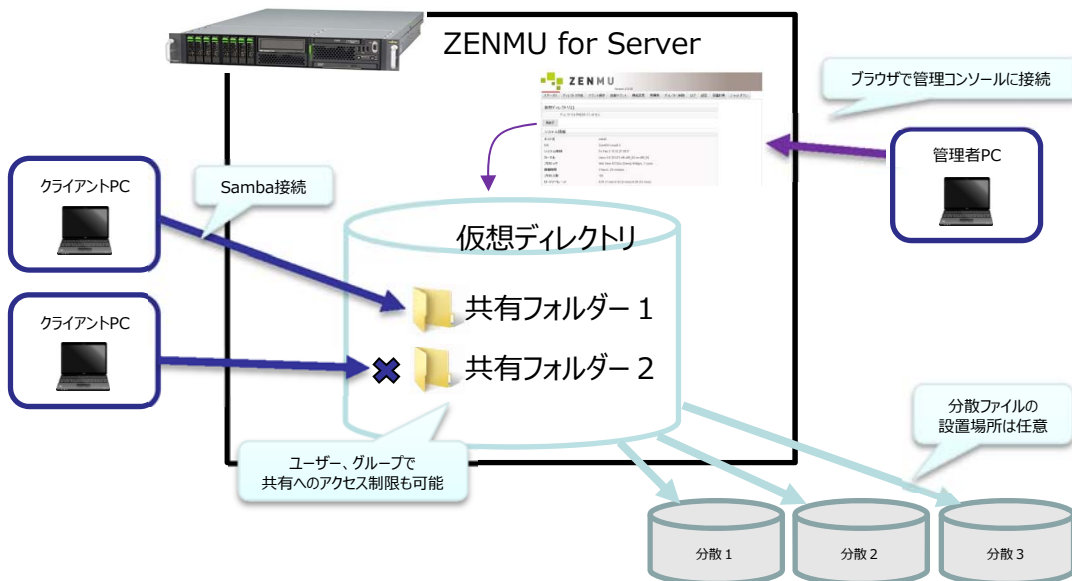
**BCP/DR対策を簡単に行いたい**

「ZENMU for Server」なら、サーバーに格納するデータを無意味化して3分割、それぞれ異なる外部ストレージに分散保管。全ての分散データが揃わないとデータは復元できないため、万が一、ストレージの一つが盗難や紛失に遭っても一片のデータだけでは情報漏えいは起こりません。また、分散片は意味のないデータとなるため、海外のデータセンターや安価なパブリッククラウドの利用も可能。大幅なコスト削減にも有効です。

#### ■ZENMU for Server のイノベーション

- サーバーに格納された分散データが流出しても、「情報漏えい」に該当しない
- サーバーの情報漏えい対策がシンプル化
- サーバー防御のコストと手間をドラスティックに低減

### ZENMU for Server 構成イメージ



- ◆ クライアントPCの接続は、Samba接続(SMBプロトコル)となります。
- ◆ 仮想ディレクトリの実体は三つの分散ファイルに格納される。分散ファイルの格納場所は任意です。
- ◆ 管理者はブラウザで管理コンソールによって仮想ディレクトリの作成、共有、権限設定等を行います。
- ◆ 仮想ディレクトリ内は、共有としてすべてのクライアントからのアクセスが可能です。(ユーザーやグループ等で共有フォルダー単位でアクセス制限をかけることも可能)

## ZENMU for Server の機能

### 秘密分散機能

- 格納データをブロック単位での秘密分散処理で3分割し、それぞれ異なる外部ストレージに分散ファイルとして格納することができます。

### Samba連携

- クライアントPCからはSamba(SMB)プロトコル接続が可能です。

### しきい値分散機能

- 分散ファイルのデータを冗長化することで、分散ファイルの欠損時にReadOnlyによる運用継続や、欠損ファイルの復元が可能です。

### 構成変更機能

- 作成済の仮想ディレクトリの構成変更（分散ファイルの保存先等）を行うことができます。

### アラート通知機能

- 分散ファイルとの接続が切れた時や仮想ディレクトリの容量がしきい値に達する時に管理者にアラート通知として、メールを送信します。

### 暗号化では、守れない！

**暗号鍵：**鍵とデータを別々に保管しても、データ全体は一箇所にあり、理論上解読されるリスクがあります。データを抜き取られたり紛失した場合は、たとえ鍵がなくて解読できないとしても、情報漏洩に該当します。

**ZENMUの分散方式：**ファイルは意味のない状態で分散され、分散片のすべてが集まらないと復元できません。  
(AONT秘密分散)  
万一、漏洩してしまっても、その分散片だけでは機密情報、個人情報に該当しません。

## ZENMU for Server 推奨スペック

- 対応OS：CentOS 6.5
- ハードウェア
  - CPU：Intel Xeon E3-1265L V3.2 2.50GHz 以上推奨
  - メモリー：16GB以上／HDD：SSD 120GB以上推奨
- 分散ストレージサーバー利用時に利用可能なプロトコル
  - iSCSI(推奨) / NFS / CIFS

**ZENMU**

TECH

株式会社ZenmuTech

本社：〒141-0031 東京都品川区西五反田2-8-1  
五反田ファーストビル4F

TEL：03-5436-6541 E-Mail: info@zenmotech.com  
URL: http://zenmotech.com/

お問合せ先

**MSR** 三井E&Sシステム技研株式会社

ビジネス事業本部 営業統括部

ビジネスソリューション第一営業グループ

〒261-8501 千葉県千葉市美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデンD9

TEL：043-274-6165

E-Mail：zenmu-info@msr.co.jp



記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。